

申請者用

博士学位論文審査に関する申請について

I. 審査全般に関する事項

1. 課程による者の範囲

- (1) 博士後期課程に3年以上在学し、演習4単位を修得し、所要の研究指導を受けたうえ、在学中に博士論文を提出した者。
- (2) 博士後期課程に3年以上在学し、演習4単位を修得し、所要の研究指導を受けたうえ、博士論文を提出しないで退学した者で、退学した日から起算して3年以内に論文を提出し研究科運営委員会において受理された者。
(受理を決定する研究科運営委員会の開催日が退学した日から起算して3年以内であることが条件となります)
- (3) 博士後期課程の在学3年未満の場合は、指導教員に相談ください。

2. 課程によらない者の扱い

上記1. 以外は全て課程によらない博士学位論文となります。この場合は、面接試験・博士論文に関連のある専攻分野の科目および外国語についての試問の方法による学識確認を原則として行います。

3. 論文申請のための研究業績等の申請要件

- (1) 課程による者の研究業績は、入学年度により以下のとおり異なります。なお、各専攻では以下の提出要件を基本として独自に要件を設定している場合があるので、詳細は指導教員に必ず確認してください。
 - ① 2011年4月以前入学者
 - ・博士論文提出までに、2015年4月以降に教育学研究科で指定する研究倫理に関する動画を視聴すること（推奨）。
 - ・学会誌・紀要等の学術雑誌に発表、もしくは掲載が決定されている研究業績があること。
 - ② 2012年4月以降入学者
 - ・博士論文提出までに、2015年4月以降に教育学研究科で指定する研究倫理に関する動画を視聴すること(2014年度以前入学者は推奨)。
 - ・博士論文提出時までに、全国的もしくは国際的な学会での研究発表を原則として1回以上行うこと。
 - ・博士論文提出時までに、学術誌（査読付き）に掲載された論文1編以上の業績をもつこと。
(掲載決定を含む)。
 - ・博士論文を提出する1年ほど前までに博士論文構想発表会において口頭発表を原則として行うこと。
- (2) 課程によらない者の研究業績は、修士課程の専攻区分による当該専攻の決定に従ってください。

4. 審査期間

受理を決定した研究科運営委員会開催月より、原則として1年以内に開催される研究科運営委員会で可否の決定がおこなわれます。

II. 審査の申請手続

1. 申請手続に関する指導

学位申請者は、修士課程の専攻区分による当該専攻（課程による者は指導教員、課程によらない者は当該専攻の専攻主任）に申し出たうえで、申請手続に関する指導を受けてください。

2. 申請書類

当該専攻の承認を受けた学位申請者は、博士学位論文受理予定の教育学研究科運営委員会開催日の2週間前までに、次の申請書類を教育学研究科長（教育・総合科学学術院事務所）に提出して下さい。

【全員提出】

- ①学位申請書（大学所定）※ 1通
- ②博士論文および博士論文概要書 審査員人数分（仮綴じのものでよい）
- ③履歴書および研究業績書（研究科所定）※ 各1通

<研究業績書（研究科所定）の注意事項>

- ・論文の業績の場合は「題名」欄に掲載頁を何頁～何頁までと明記してください。共著の場合は、著者名を掲載されている順序で全て記載し（本人氏名に下線）、担当頁を何頁～何頁までとご記入ください。
- ただし、表紙、奥付等に氏名が記載されている場合のみを共著とし、それ以外の場合は、「分担執筆」と区分し業績の末尾に記載してください。
- ・査読付きの論文の場合は、（査読付）と明記してください。
- ・研究業績書に記載した学术论文等が「掲載決定・掲載予定」等の場合は、掲載決定等を証明する証明書等を添付してください。

（記入例）

著書・論文・学会発表等の別	題名	発行又は発表年月	発行又は発表箇所	掲載誌名等
論文 （共著）（査読付）	○○○○○○○○○ 早稲太郎、大隈次郎 P25～P30 担当	1994.6	○○学会	○○誌

- ④博士論文および博士論文概要書の電子ファイル（申請書類提出時までに事務所から研究科が指定する方法による提出を依頼します）

注：※の書類について、WORD版で作成した書式があります。書式は、教育学研究科ホームページ（以下URL）に掲載されております。

<http://www.waseda.jp/fedu/gedu/students/report>

【2012年度以降入学者で在学中の方のみ提出】

- ①博士論文研究経過報告書
- ②指導教員（正）による博士論文研究指導報告書

III. 受理承認後の手続

教育学研究科運営委員会において受理が承認された場合は、大学院教育学研究科事務所より『博士論文受理通知』を郵送します。また、受理が認められなかった場合はその旨通知します。

課程によらない博士学位論文の場合は、『博士論文受理通知』とともに博士論文審査料振込の案内を郵送しますので、所定の審査料を速やかに振り込んでください。

審査料： 本大学の専任教職員である方 100,000円 本大学の専任教職員でない方 200,000円

<インターネットの利用による公開の原則>

博士学位論文は、インターネットの利用による公開が原則となっております。ただし、書籍等により出版する予定がある場合は、公開を留保することが可能です。公開留保を希望される場合は、事務所にご連絡ください。

IV. 審査

受理決定後の論文審査・公開発表会・面接試験（課程によらない者の場合）・学識確認（課程によらない者の場合）については、当該専攻の専攻主任・指導教員の指示に従ってください。

V. 授与日程

1. 博士学位授与年月日（以下のいずれも、学内理事会の承認後最終決定となります）

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①博士後期課程在学者（3年未満） | 3月15日 または 9月15日 |
| ②博士後期課程在学者（3年） | 3月15日 |
| ③博士後期課程在学者（4年以上） | 研究科運営委員会決定日※ |

※受理以降に審査終了前（指導教員が審査報告書を提出する前）に申請書を事務所に提出することで、修了日（学位取得年月日）を春学期合格者は9月15日、秋学期合格者は3月15日に変更することが可能です。一度申請すると変更できませんので、学生としての身分が必要であるTAとしての勤務、外国籍の方の在留資格等の都合、学位取得が条件となる日本学術振興会のPDの申請などの状況をよく検討した上で、申請してください。申請書式は次ページの様式となります。

- | | |
|---------------------|-------------|
| ④博士後期課程退学者（退学後3年以内） | 研究科運営委員会決定日 |
| ⑤課程によらない博士学位 | 研究科運営委員会決定日 |

2. 学位授与式（大学主催）

春学期合格者は9月、秋学期合格者は3月に開催予定

3. 合格後手続き

教育学研究科運営委員会において合否が決定した後、大学院教育学研究科事務所より『判定結果通知』を郵送します。合格の場合には学位取得証明書の発行予定なども併せてお知らせします。

博士論文の審査過程において形式上等の一部修正の指示があった場合には、修正後の博士論文および博士論文概要書のPDF/Aファイル各1部を、合否判定が審議された運営委員会開催日から起算して2週間以内に、研究科が指定する方法により提出してください。

課程内で学位を授与された方は、進路報告を行っていただく必要があります。

以 上

在学中の学位取得に伴う修了日変更申請書

年 月 日

教育学研究科長 殿

博士学位取得に伴う修了の年月日について、博士論文審査合格となる研究科運営委員会の承認日に替えて、

_____年 3月15日・9月15日 (春学期合格は9月、秋学期合格は3月に○)

修了として変更をお願いいたしたく、当申請書を提出いたします。

学籍番号	
氏名	印
指導教員氏名	印

※対象者は4年生以上のみ

以 上